

# 男性不妊症に対する漢方薬 OGherb 製剤の効果

大阪医科大学 医学部 産婦人科 ○森 祥子、後山 尚久、細谷 俊光  
森 久仁子、山下 能毅、植木 實

## 【目的】

2003年11月から2004年7月における当科の不妊症夫婦のうち、夫の直進精子濃度が20%未満の症例において、OGherb製剤(Oyster-Gynseng peptide)の効果について検討した。

## 【方法】

精子検査後、12週間「OGherb製剤」を20粒/日服用し、4週おきに全精子濃度、運動精子濃度、精子直進率の変化を評価した。同時に血中Zn濃度、E1、E2、LH濃度、FSH濃度、テストステロン濃度の変化を評価した。

## 【結果】

服用前、服用4週、服用12週の全精子濃度はそれぞれ $30.9 \pm 26.6$ 、 $59.6 \pm 57.7$ 、 $78.4 \pm 62.2$  ( $\times 10^6/\text{ml}$ ) ( $P < 0.05$ )と有意に増加した。運動精子濃度においても $5.4 \pm 5.9$ 、 $21.9 \pm 45.5$ 、 $25.4 \pm 30.3$  ( $\times 10^6/\text{ml}$ ) ( $P = 0.05$ )と有意に増加した。精子直進率においては $11.5 \pm 8.8$ 、 $23.9 \pm 24.9$ 、 $21.5 \pm 16.8$  ( $\times 10^6/\text{ml}$ ) ( $P = 0.086$ )と上昇傾向がみられた。服用前、服用4週、12週の血中Zn濃度、E1濃度、E2濃度、LH濃度、FSH濃度、テストステロン濃度に変動は認められなかった。治療は全例、濃縮人工授精を行い、5例が妊娠した。(妊娠率：41.4%)

## 【結論】

1. 精子無力症において、OGherb製剤は全例の全精子濃度、運動精子濃度を有意に増加させ、精子直進率も上昇させた。
2. OGherb製剤の投与により血中ホルモン濃度は変化しなかった。
3. 以上より、男性因子を含め不妊症の治療においてOGherb製剤の臨床的意義は大きいと思われた。